

第20期

株主通信

2009年4月1日～2010年3月31日

アメリカ生まれの元気なハムスター
「ズーズーペット」が日本上陸!!

Zhu Zhu
pets™

CONTENTS

ごあいさつ	1
現状と展望	2
事業紹介	3
注目のトピックス	5
中期経営ビジョン	7
事業概況	8
連結財務諸表	9
会社概要／株式の状況	10

株主メモ／株主優待について

新価値創造、業務、経営。 あらゆる面において さらに徹底的な取り組みを。

株主の皆様にはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は当社に格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

平成21年12月1日より、新しい代表取締役社長として就任以来、負の遺産の一扫、経営の「見える化」の推進に着手し、早期の黒字化に向けた様々な施策に着手しました。

平成22年3月期の業績は、海外で引き続き「爆丸(ばくがん)」シリーズが好調に推移するなど明るい話題もありましたが、国内における新製品が売上、利益ともに計画に達せず、また、平成23年3月期以降の黒字化に向けた施策の一環として実施した、子会社の解散、希望退職者募集、在庫処理などに伴う特別損失を計上し、大幅な最終赤字となりました。また、コンプライアンス、企業ガバナンスの見地から、これまでの取り組みに対する再点検を行い、より実効性を伴う具体的な施策に取り組んでいく過程の中で、今回不祥事が発覚し、株主の皆様には大変なご迷惑そしてお心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

一方で、平成23年3月期以降への黒字化への取り組みは着々と進んでいます。

安定成長させていく事業、次世代のために育成する事業、そして撤退・縮小する事業など、中長期での事業戦略も明確になっています。グローバル対応、セガサミーグループ間のシナジーによる徹底的な事業戦略の見直し、さらには中期経営ビジョンも、これらの施策をもとに作成し、株主の皆様には発表できる運びとなりました。

真の力強い歩みを始めたセガトイズ。

今後とも、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



株式会社セガトイズ 代表取締役社長

鈴木 義治 *Yoshiharu Suzuki*

Profile

平成 4年 11月	サミー株式会社入社 アミューズメント事業本部副本部長 兼アミューズメント開発部長
平成 6年 6月	同社 取締役アミューズメント事業本部副本部長兼開発部長
平成14年 6月	同社 常務取締役AM事業本部管掌兼AM・NEWS事業統括室長
平成16年 2月	株式会社セガ入社 取締役
平成16年 6月	同社 常務取締役アミューズメント機器事業本部長
平成20年 4月	当社入社 顧問
平成20年 6月	当社 専務取締役
平成21年 12月	当社 代表取締役社長(現任)

for Shareholders

Q1 黒字化に向けた具体的な経営戦略について (短期的な収益改善策と今後の事業構造の見直しについて)

黒字化に向けた事業構造の見直しや組織改革の実行に取り組み、「売上主義」から「利益主義」への転換を図っています。すでに事業仕分けに着手し、事業、製品の絞り込みを実施しています。短期的な収益改善策として撤退を含めた事業見直しによる体質改善を急ぎます。事業の育成、定番化、挑戦を促進することも必要です。保守的な慣習、体制、マインドを一掃します。利益を生み出すという意識を若手から経営層まですべての社員が共有し、利益を生み出す事業構造にしていきます。

Q2 国内事業とグローバル事業の融合による 業務拡大戦略について

これまで国内と海外とを分けていた事業部のあり方を見直し再編成。企画段階からグローバル市場を意識した計画のもと商品開発、生産、販売計画を行い、海外市場への積極的なチャレンジをします。「i-Dog」や「爆丸」に続く海外で受け入れられる商品やコンテンツを生み出すべく、また既存の商品の海外展開を図ります。コスト面でもグローバル水準を目指すことにより、競争力そして国内でのアドバンテージを得ていきます。物流、生産拠点、営業政策などを徹底して見直すことで、利益の出る構造に転換します。グローバルを意識し一丸となって進むために、あえて組織名にも「グローバル」を冠しました。この戦略は国内市場の活性化、利益重視への転換にも寄与することになります。あわせて、海外企業とのコラボレーションによる海外展開、「ズービーペット」などに代表される海外でのヒット作の国内展開も進めていきます。

Q3 ヒット商品「爆丸」の国内展開の現状と 今後の見直しについて

海外では人気不衰えなところか、さらに勢いを増している「爆丸」シリーズは当社にとって、非常に明るい話題です。この勢いを国内での業績に活かすべく、重要な事業戦略のひとつとして取り組んでいきます。そのスタートとして昨年11月に「爆丸有限責任事業組合

(爆丸LLP)」をセガサミーグループ5社の出資により設立しました。テレビアニメ、玩具、ライセンス商品、アーケードゲーム用カードなど、セガサミーグループのそれぞれの強みを結集し、「爆丸」というIP(知的財産)価値を最大限に高めるプロジェクトを進行しています。これはまさにグループ・シナジーの好例といえます。プロモーションにも注力し、この夏の大きなムーブメントにするべく、店頭、イベント、キャンペーン、TVCM、WEBサイト、少年層に絶大な影響力を持つ漫画誌とのコラボレーションも進行中です。ご期待ください。

Q4 売上高総利益率の高い国内事業の 復活の見直しについて

少子化、景気の低迷などにより国内市場が縮小傾向にあり、株主の皆様も心配されている点かと思えます。しかし、当社の国内市場におけるシェアは決して大きいものではありません。むしろこのシェアでこれだけの売上があるというのもまた事実です。さらにここまでご紹介してきましたような施策、つまり「利益主義への転換」「グローバル戦略による事業構築」「グループ・シナジーの融合」といった施策を確実に実施していくことで、国内そして海外におけるシェア、業績を拡大することは十分可能であると考えております。また、今までトイ領域と考えていたものも、時代とともに、その領域は拡大もしくは変化しています。こうした点からも状況、環境を言い訳にするのではなく、当社としてやるべきこと、やれることを進めることでさらなる成長を目指します。

株主の皆様へ

事業整理、成長戦略への転換などの過程で大きく赤字を計上したことに加え、株主の皆様にはご迷惑、ご心配をおかけした局面もございました。今後は内部統制の基本的な目的である業務の有効性、効率性、財務報告の信頼性、事業活動にかかわる法令等の遵守並びに資産の保全についてさらなる徹底管理強化を図り、足元を固めたうえで、あらためてここにご紹介した様々な施策を実施してまいります。体制づくりもその一つです。長期的な成長のために、社員全員で進んでいく体制をいち早く構築していきます。まさに当社にとって維新の時。新たな船出、一丸となって進み、ご期待にお応えできるよう尽力いたします。

遊びながら「学ぶ」 エデュテイメント関連

Edutainment

玩具業界で唯一のプラットフォームビジネスを展開し、教育的要素(エデュケーショナル)と玩具の楽しさ(エンターテインメント)を組み合わせた製品及びサービスを提供するエデュテイメント事業を展開しています。

知育事業としてトータルなマーケティングを行うことによりエデュテイメント売場の拡大、知育マーケットでの事業拡大を図ります。

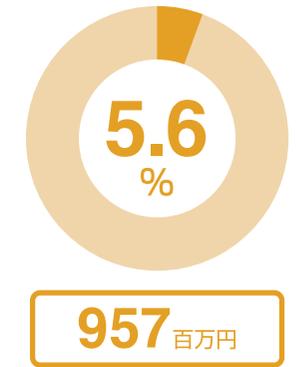


アンパンマンをさがせ! セット
©やなせたかし/フレール館・TMS・NTV

■売上高推移(連結)



■売上高構成比('10年3月期)



遊びながら「心を癒す」 ファミリーエンターテインメント関連

Family Entertainment

様々なコミュニケーションから生まれる楽しみや喜びを新しい付加価値として創造し、従来の玩具領域を超えた新しい生活エンターテインメントツールとしての製品及びサービスを提供する事業を展開しています。

当社の強みであるデジタル技術(IC・センサー・メカトロニクス)に玩具開発のノウハウを活かし、オールターゲット(全年齢・全世帯・全世界)に向け、新しい付加価値を創造していきます。



ホームスターPRO
2ndエディション

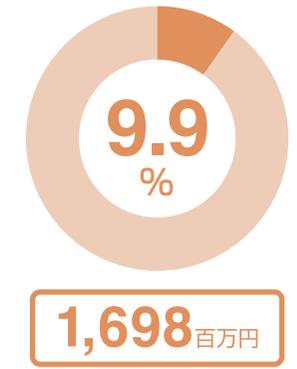
ホームスターアークア

夢ねこヴィーナス

■売上高推移(連結)



■売上高構成比('10年3月期)



遊びながら「心を育む」

NEWコンテンツビジネス関連

New Contents

オリジナルキャラクターの創出や、キャラクターライセンスの許諾、異業種とのコラボレーションなどによる製品及びサービスを提供する事業を展開しています。

様々な種別のキャラクターコンテンツ(オリジナル・ソーシング)を、様々なアライアンス活動により新しいビジネスモデルとして構築し、玩具や玩具周辺事業などを具体化していきます。

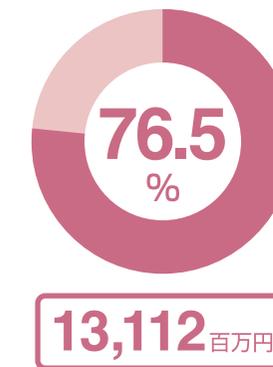


爆丸 ©SEGA TOYS/SPIN MASTER/
BAKUGAN 2 PROJECT・テレビ東京

■売上高推移(連結)



■売上高構成比('10年3月期)



さらなる可能性を求めて ホビー関連・その他

Hobby Related & Others

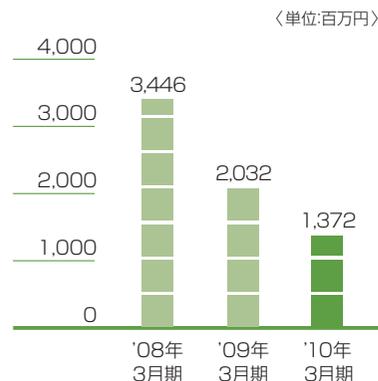
アミューズメント施設向け製品、ライセンスビジネスなどを手がける事業を展開しています。

セガサミーグループのシナジーを発揮した商品開発や、景品事業などにも取り組んでいます。

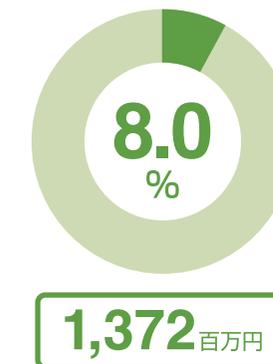
なお、ラジオコントロール玩具事業につきましては、子会社タイヨーの解散により撤退しております。



■売上高推移(連結)



■売上高構成比('10年3月期)



SEGMENT
INFORMATION

グローバル戦略から生まれた 新たなヒット作「ズーズーペット」

アメリカで爆発的な人気を獲得し、2010年「TOY OF THE YEAR」大賞受賞。
そして2010年4月の国内発売開始で、早くも人気に火がついたこの商品には、
当社の新たな挑戦の成果があります。担当社員がその魅力と意味をご紹介します。

方向をかえて進んだり転んだり、おしゃべりやいろいろな音をさせながらかけ回る、かわいいハムスターたち。人気のひとつはハムスターたちがこちらの思い通りにならないこと。どこへ行ってどんなことをするのかわからないんです(笑)。これがロボットではなく生きているキャラクターのように感じられて面白い。さらに専用の部屋や着せ替えなどのお世話遊びをするアクセサリーを集めて、自分だけのズーズーペットの世界を作ることができます。買って終わりではなく、ストーリー、世界観が広がっていくところも魅力。これらが飽きずに夢中で長い時間遊んでもらえるという良さにつながっていると思います。

ズーズーペットは、米国セピア社が開発した商品で、2009年夏に発売されて半年間で1200万個を超える驚異的なヒットとなり、品薄状態にも。実はセピア社とはこの商品が発売される前から、何か一緒にできることはないかとラブコールを送り続けていました。その中でこうした素晴らしい商品の国内販売を手掛けることになったのです。

国内での反応も非常に良いものでした。実際に売り場で子供たちが楽しんでいるところを見て、また販売店さんの評価ポイントも私が感じていた楽しさと同じもので、わが意を得たりという想いです。

今後は玩具の拡販にとどまらず、グループ・シナジーを活かしながら、各社の持っているインフラを活用して様々な展開も視野に入れてまいります。また、日本発のアイデアをアメリカにフィードバックしてさらに世界が広がればと考えています。

グローバルエデュテイメント & ホビー事業部
ホビー課 課長 岡村 雅人



ジュエルペットていんくる



最強のメディアミックスを展開中 ジュエルペットの世界が広がっています

女兒向けトイとして人気が定着した「ジュエルペット」。毎週土曜日朝9時よりテレビ東京系にて放映されているテレビアニメ「ジュエルペットていんくる」は、商品ターゲットである女兒層には抜群の視聴率を誇るなど、絶大な支持を受けています。この成功は、トイとキャラクターの魅力を最大限に生かす、最強ともいべきメディア戦略に支えられています。

アニメのストーリーは、WEBサイト専用コミュニティ「ジュエルランドオンライン」と連動。WEBではジュエルペットの世界を体感でき、雑誌連載のマンガの続きが見られます。そのサイトへのアクセスコードは商品に付属。リアルでジュエルペットの世界を体験できるカードとキッズ筐体も連携しています。既存のトイ領域の境界線を変えた新たなビジネスモデルとして幅広い価値の提供につとめてまいります。



©2008,2010 SANRIO/SEGA TOYS
サンリオセガトイズ/ウィーブテレビ東京・ジュエルペット製作委員会

爆丸バトルブローラーズ
ニューヴェストロイア



セカンドシーズンも地球規模の大ヒット そして今年、「爆丸」は国内でも熱く燃える

世界110カ国でのアニメ放送、80カ国で関連商品の販売、さらに2009年には米国で「TOY OF THE YEAR」大賞を受賞するなど、爆丸は世界中でその勢いを拡大しております。こうした海外での勢いに勝るとも劣らないムーブメントを国内でも起こすことは当社の最重要課題であることは言うまでもありません。

すでにテレビアニメ「爆丸バトルブローラーズ ニューヴェストロイア」が毎週火曜日夜7時よりテレビ東京系列にて放映され人気を博しています。さらに、ターゲットである男児に絶大な影響力を持つコロコロコミック（小学館）での連載や、新たなコラボレーションも予定されています。あわせて大量の爆丸キャラクターの投入を予定しており、全国でのイベント展開など、セガサミーグループ一体となってメガヒット商品に育てていきます。



©SEGA TOYS/SPIN MASTER/
BAKUGAN 2 PROJECT・テレビ東京



PRODUCT
TOPICS

中期経営ビジョンにおける基本方針と経営戦略

■ 経営ビジョン

セガサミーグループ内のシナジーを最大限発揮し、全く新しいエンターテインメントを日本から世界に向けて発信し、世界中の人々に最高の笑顔と感動をお届けします。

■ 基本方針

当社グループは「新価値創造 for the next smile」を社是とし、従来の玩具業界の枠にとらわれず、これまでになかった新しい遊びを提案することを目指しています。人々の「遊び心」は極めて普遍的であり、時代、年齢、国・地域等に関係なく、遊びを求めるマーケットはどこにでも存在しています。当社グループは「効率的な経営」「最先端の技術」「グローバル市場の拡大」「他社とのアライアンス」により新たな価値を創造し、人々が本来持っている「遊び心」を満足させるとともに、社会環境や安全性にも十分配慮し、豊かな気持ちを育む社会作りに貢献してまいります。

■ 中長期的な経営戦略

現在、玩具業界では、少子化の影響や消費者嗜好の多様化、消費不況による価格競争、小売販売形態の多様化、製造における中国での人件費や原材料価格の高騰等といった様々な問題をかかえています。こうした状況のなか、各メーカーでは多様化するニーズに対応した魅力ある商品の開発や新しいジャンルへの取り組みなどを積極的に行なっています。その中で当社は、厳しい環境下で他社との競争に勝ち抜くために、国内市場だけでなくグローバル市場においても対応可能なコスト競争力の強化を目的に、生産拠点の見直しをはじめとするバリューチェーンの見直しに着手しています。

また、中期経営ビジョンである「セガサミーグループ内のシナジーを最大限発揮し、全く新しいエンターテインメントを日本から世界に向けて発信し、世界中の人々に最高の笑顔と感動をお届けする」ために、中期事業戦略として「製品のプラットフォーム化戦略」と「キャラクターコンテンツのクロスメディア化戦略」に取り組み、またこれらの中期経営計画を実現するための「7つの構造改革」に着手していきます。

■ 中期事業戦略

① 製品のプラットフォーム化戦略

製品単品のヒットを創出し販売していた従来型の単品玩具販売の事業構造を見直し、多様なコンテンツを提供。さらに、プラットフォームに繋がる顧客資産を活かしたストック型ビジネスを展開するなどの「プラットフォーム型ビジネス」への転換を図ります。

② キャラクターコンテンツのクロスメディア化戦略

キャラクターコンテンツを中心にクロスメディアによる仕掛けにより、メディア間の連動及び相乗効果で認知度及び価値の向上と、顧客接点拡大による収益機会の多様化を図ります。さらに、製品及びコンテンツの楽しさや感動を実体験できる場を整備することで継続的な顧客接点を構築し、新たな収益機会を獲得することにも取り組んでいきます。

■ 7つの構造改革

7つの構造改革を実行し、「従来型玩具モデル」から新たなビジネスモデルへと脱却し、「製品のプラットフォーム化事業」「キャラクターコンテンツのクロスメディア化事業」でナンバーワン、オンリーワンを目指してまいります。

① 既存玩具モデルを越えたビジネスモデルの革新

② 組織機能の改革

③ 国内営業における売り場戦略の見直し

④ グローバル市場における成長機会の取り込み

⑤ グローバルコスト競争力強化のためのコスト構造の改革

⑥ 事業構造改革を加速する人材の確保と育成

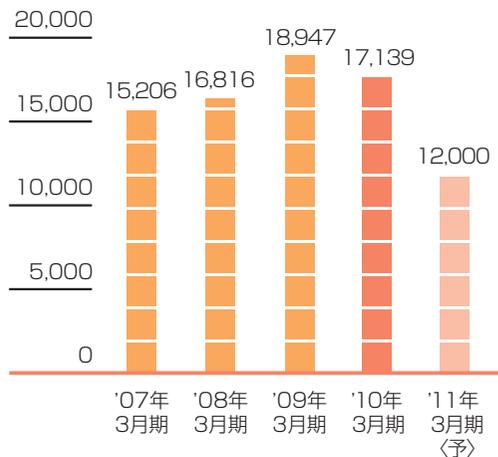
⑦ リスク管理経営の徹底

事業概況

■ 連結財務ハイライト

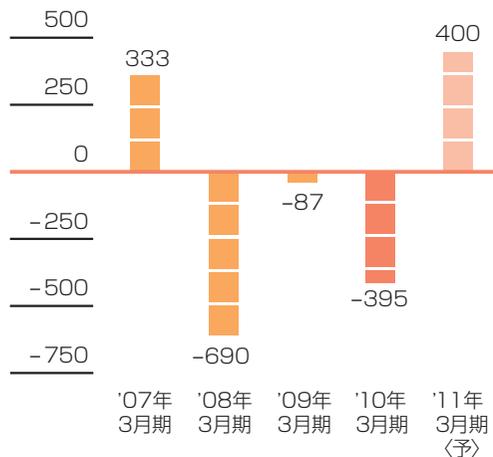
売上高

(単位：百万円)



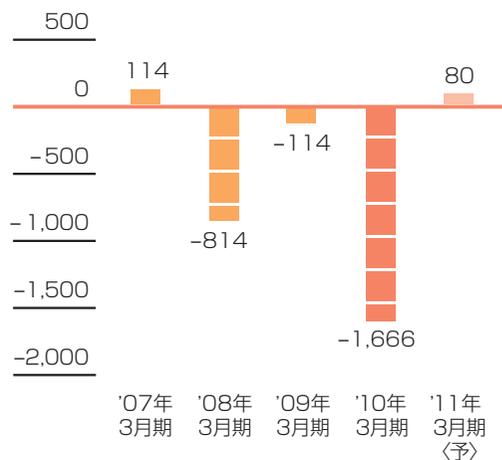
営業利益

(単位：百万円)



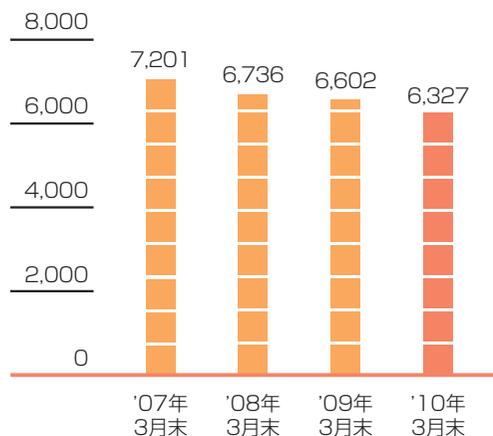
純利益

(単位：百万円)



総資産

(単位：百万円)



■ 業績概況

エデュテイメント関連

ビーナシリーズの新作ソフト「いっしょにへんしん フレッシュプリキュア!」や、ビーナ本体とソフトがセットになった「アンパンマンをさがせ!セット」などを発売しましたが、前年実績を下回りました。

これらの結果、連結売上高は、957百万円(前期比10.2%減)、連結営業損失は52百万円となりました。

ファミリーエンターテイメント関連

国内においては、「家あげ花火」などの新製品を発売しましたが、定番シリーズの「ホームスター」や「夢ベット」などの大人向けエンターテイメントの新製品が消費不況の影響を大きく受け苦戦しました。

海外においては、「ホームスター」が前期並みに推移しましたが、これまで海外販売を大きく牽引していました「i-Dog」シリーズが終焉期を迎えたことから、前期実績を大きく下回りました。

これらの結果、連結売上高は1,698百万円(前期比57.0%減)、連結営業損失は490百万円となりました。

NEWコンテンツビジネス関連

国内においては、NHK教育番組の新キャラクター「モノランモノラン」などの新製品を発売し、定番シリーズの「アンパンマン」は堅調に推移したものの、「スプレーアート」や「クッキングトイ」などの既存製品は低調に推移しました。

海外においては、「爆丸2」が北米に続き欧州市場でもヒットしたことにより好調に推移しました。

これらの結果、連結売上高は13,112百万円(前期比10.2%増)、連結営業利益は333百万円となりました。

ホビー関連・その他

平成22年1月末に解散いたしました連結子会社の株式会社タイヨーのラジオコントロール玩具の販売不振及び事業撤退による売上高の大幅な減少の影響もあり、連結売上高は1,372百万円(前期比32.5%減)、連結営業損失は185百万円となりました。

BUSINESS
RESULT

連結財務諸表

(百万円未満を切り捨てて表示しております。)

■ 連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科目	第20期 2010年3月31日	第19期 2009年3月31日
資産の部		
流動資産	5,490	5,678
固定資産	799	897
繰延資産	37	27
資産合計	6,327	6,602
負債の部		
流動負債	2,921	2,190
固定負債	1,272	1,083
負債合計	4,193	3,274
純資産の部		
株主資本	1,646	3,313
資本金	1,735	1,735
資本剰余金	1,755	1,755
利益剰余金	△1,845	△178
評価・換算差額等	3	△5
新株予約権	34	21
少数株主持分	449	-
純資産合計	2,133	3,328
負債純資産合計	6,327	6,602

■ 連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	第20期 2009年4月1日～ 2010年3月31日	第19期 2008年4月1日～ 2009年3月31日
売上高	17,139	18,947
売上原価	13,868	14,951
売上総利益	3,270	3,996
販売費及び一般管理費	3,666	4,083
営業損失(△)	△395	△87
営業外収益	28	28
営業外費用	44	39
経常損失(△)	△412	△98
特別利益	4	-
特別損失	1,061	-
税金等調整前当期純損失(△)	△1,469	△98
法人税、住民税及び事業税	125	6
法人税等調整額	119	12
少数株主損失(△)	△48	△3
当期純損失(△)	△1,666	△114

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	第20期 2009年4月1日～ 2010年3月31日	第19期 2008年4月1日～ 2009年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△228	930
投資活動によるキャッシュ・フロー	△586	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,576	△208
現金及び現金同等物に係る 換算差額	32	△40
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	793	661
現金及び現金同等物の 期首残高	2,262	1,601
現金及び現金同等物の 期末残高	3,056	2,262

■ 連結株主資本等変動計算書 (第20期 2009年4月1日～2010年3月31日) (単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
2009年3月31日残高	1,735	1,755	△178	3,313	△0	△5	△5	21	-	3,328
連結会計年度中の変動額										
当期純損失			△1,666	△1,666						△1,666
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					0	9	9	13	449	471
連結会計年度中の変動額合計			△1,666	△1,666	0	9	9	13	449	△1,194
2010年3月31日残高	1,735	1,755	△1,845	1,646	△0	3	3	34	449	2,133

会社概要／株式の状況

●会社概要

商号 株式会社セガトイズ
英文商号 SEGA TOYS CO., LTD.
創業 1991年2月
代表者 鈴木 義治
所在地 東京都渋谷区広尾一丁目1番39号
恵比寿プライムスクエア
資本金 1,735百万円
従業員数 114名(連結)

●役員

取締役会長	里見 治	執行役員	大村 寛明
代表取締役社長	鈴木 義治	常勤監査役	山重 佳治
取締役副社長	菅野 暁	社外監査役	嘉指 富雄
専務取締役	横関 謙治	社外監査役	向 吉太郎
執行役員	杉本 道俊	社外監査役	池田 哲司
執行役員	木村 純一		

●子会社

爆丸有限責任事業組合(爆丸LLP)
東京都渋谷区広尾一丁目1番39号 恵比寿プライムスクエア
SEGA TOYS(HK)CO.,LIMITED(セガトイズ香港事務所)
FLAT/RM 1803 18/F TOWER 1 CHINA HONG KONG CITY
33 Canton Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong

●グループ会社

セガサミーホールディングス株式会社
東京都港区東新橋一丁目9番2号 汐留住友ビル

●株式の状況

発行可能株式総数 54,660,000株
発行済株式総数 21,536,100株
単元株式数 100株
株主数 12,818名

●大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
セガサミーホールディングス株式会社	11,250,000	52.23%
セガトイズ従業員持株会	318,500	1.47%
國分 功	207,200	0.96%
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・ピーエルシー	182,100	0.84%
永田 伸二	160,000	0.74%
櫻井 大三郎	111,300	0.51%
日本証券金融株式会社	105,800	0.49%
横関 謙治	100,100	0.46%
株式会社SBI証券	98,200	0.45%
金井 明彦	88,400	0.41%

●株式分布状況

所有者別



所有株数別



CORPORATE
&
STOCK DATA



©SEGA TOYS/HORIPRO

株式会社 セガトイズ

<http://www.segatoys.co.jp/>

本社
〒150-0012 東京都渋谷区広尾一丁目1番39号
恵比寿プライムスクエア
Tel.03-5774-3600(代表)



この株主通信は環境保全のため、大豆インキと日本WPAとFSC認証紙を使用しています。

株主メモ

決算期	毎年9月30日
定時株主総会	毎年12月
基準日	毎年9月30日 上記の他必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定める
期末配当金受領株主確定日	毎年9月30日
中間配当金受領株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 ☎0120-232-711
インターネット ホームページURL	http://www.tr.mufg.jp/daikou/
同次所	三菱UFJ 信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引	大阪証券取引所(証券コード 7842)

株主優待制度の本年休止に関するお知らせ

当社は株主優待制度として、毎年3月31日現在の株主名簿(及び実質株主名簿)に記載または記録された当社株式を100株以上保有されている株主様に対して、その持ち株数に応じた株主優待品の贈呈を実施してまいりました。

しかしながら、現在市況の悪化等により当社の業績も厳しく、当社は当事業年度におきまして、役員報酬及び従業員の給与削減、希望退職プログラムの実施等を含め、各種経費の削減及び収益改善に努めてまいりましたが、平成22年3月期決算におきましては特別損失の計上、配当についても無配を余儀なくされている状況が続いています。

その中で株主優待制度につきましても、事業環境の厳しい中で早期の黒字化を実現し、株主様に配当を実現できるよう更なる費用削減に努める必要があることから、同制度を本年は休止することといたしました。

今後も株主様への利益還元が当社の最重要課題であると認識し、全社一丸となって業績の回復、早期の復配ならびに株主優待制度再開の実現に向け取り組んでまいります。今般の株主優待制度の休止に関しまして深くお詫び申し上げますとともに、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

セガトイズのIR情報はホームページで詳しくご紹介しております。



<http://www.segatoys.co.jp/ir/index.html>

将来予測に関する記述についての注意事項

本誌の業績予測に関する記述および客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願い申し上げます。実際の業績は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レートなどにかかわる様々な要因により、記述されている業績予測とは異なる可能性があることをご承知おきください。